

下水道技術開発会議における検討事項

資料-3

◆「下水道技術ビジョン」に示された当会議の役割

- ① 下水道技術ビジョンのフォローアップ(として以下を実施)
- ② 技術開発の進捗度の確認と推進方策の評価
- ③ 社会情勢等の変化に対応した新たな技術開発テーマの検討
- ④ 新技術に対する需要と要求性能
- ⑤ 重要な技術開発テーマのプログラムと目標の検討

(参考)下水道技術ビジョン(第3章抜粋)

下水道技術ビジョンのフォローアップとして、技術開発の進捗度の確認と推進方策の評価のほか、社会情勢等の変化に対応した新たな技術開発テーマの検討や、新技術に対する需要と要求性能、重要な技術開発テーマのプログラムと目標の検討を行う。そのため場として、下水道技術開発会議(仮称)を設置する。また必要に応じて技術開発分野に応じた分科会を設置し、ビジョンの内容をより具体的に検討していく。

下水道技術開発会議における検討事項 27年度委員会(H28.1.21)で示した検討事項等

- ◆ 下水道技術ビジョンと意見募集の紹介
- ◆ 会議における検討事項について
 - ◆ 下水道技術ビジョンのフォローアップ
 - ◆ 新技術に対する需要(必要とされる時期と事業量) ④
 - ◆ ニーズとシーズに関する調査 ③
 - ◆ ロードマップの見直し方法 ①③
 - ◆ 技術開発の推進方策、検討事項
 - ◆ 優先的に行う技術開発テーマの検討 ⑤
 - ◆ 新技術に対する要求性能の提示・検討 ④
 - ◆ 情報の交換・集約体制 ②⑤

(註) 下線が28年度第1回会議における主要な審議事項
丸数字は本資料P.1の検討事項の番号①～⑤と対応している

下水道技術開発会議における検討事項 本日の会議 (2016.7.5) での主な検討事項

- ◆ 技術シーズ、ニーズの把握 ③
 - ◆ 定期的なシーズ・ニーズ調査の実施
 - ◆ 関係団体との情報交換、研究テーマの提案
 - ◆ 学界からのシーズ・ニーズ情報の把握
- ◆ 「ロードマップ重点課題」の検討 ⑤ 今回会議での要決定事項
 - ◆ 重点課題の選定方針
 - ◆ ロードマップ重点課題(平成28年度)案
- ◆ ロードマップの改定手順 ①③ 今回会議での要決定事項
 - ◆ 前回ご意見を反映して、ロードマップの改定方法を提示
- ◆ 技術ビジョンのフォローアップに向けて ②

丸数字は本資料P.1の検討事項の番号①～⑤と対応している